

Z114r ハワイ観測所からのPFSへの期待

吉田道利（国立天文台ハワイ観測所）

すばる Prime Focus Spectrograph (PFS) は、8–10m 級望遠鏡の多天体分光器として、傑出した多重性と視野を持ち、完成時には他の追随を許さない性能を発揮するであろうと期待されている。2010年代に入ってから、宇宙論、銀河進化、銀河考古学といった分野で、可視近赤外線による広視野撮像・分光観測の重要性が高まってきた。すばる望遠鏡の超広視野カメラ Hyper Suprime-Cam (HSC) の開発とその共同利用は、こうしたサイエンスの需要とマッチし、今やその広視野サーベイ能力がこれらのサイエンスに留まらず様々な天文学研究に威力を発揮している。PFS は HSC によって開かれたサイエンスをさらに進める画期的な装置である。ハワイ観測所は、PFS をすばる望遠鏡の次期主力観測装置として位置づけ、その受け入れ準備を行っている。現在、PFS チームにおいて、PFS を用いたすばる戦略枠プログラムの検討が進んでいる。講演では、こうした取り組みや共同利用を通じて、PFS の果たすべき役割と期待される成果等について、ハワイ観測所および一研究者としての立場からお話したい。